

青葉通駅前エリアのあり方検討協議会 第2回交通処理ワーキンググループ 議事概要

日 時 令和3年8月6日(金) 14:00~15:00
会 場 中小企業活性化センター セミナールーム(2)
議 題 検討の進め方について、交通処理の課題・効果について
配布資料 次第
本日の座席表

【資料1】 仙台駅前地区の現況交通動線について
想定される空間構成のイメージ図
整備手法別の課題・効果整理について
当面の進め方について

○主な意見等

【検討にあたっての資料、情報提供について】

- ・現況交通動線の資料に一部誤りがあるため、修正をお願いしたい。
- ・高速バス路線について、広瀬通の高速バスセンター発着便はバスセンターに車両を回送する際に青葉通や駅前通を経由する場合もあるため、資料の用途に応じて追加あるいはこれらを踏まえた上で注釈を設ける等をお願いしたい。

【検討の進め方について】

- ・青葉通の活性化を協議する上では、通りだけではなく沿道がどうなるかによっても活性化の方向性が変わってくるのではないかと。
- ・仙台駅西口駅前広場は、約10年前に再整備をして街区のレイアウトを大幅に変更した経緯があり、今の通りの状況を踏まえた整備を、社会実験や道路の見直しを経て実施したという前提がある。こうした内容も今回の青葉通の取組みに考慮していただきたい。
- ・交通結節点として重要な場所であり、鉄道利用者に加えてバスや歩行空間の利用者など多くの方々が利用する場所であることから、西口駅前広場の過去の経緯も含めて連携をとりながら検討を進めていただきたい。
- ・西口はペDESTリアンデッキが非常に発達している場所であり、場所が狭いという点も踏まえて歩車分離を行った先進的な広場である。歩車分離を立体的に行っている広場であるという部分との連携を含めて空間構成を検討いただければとよいと思う。
- ・仙台都市計画マスタープラン、交通計画が今後10年間程度の計画で進行しており、その中の1つとして今回の取組みがある。まずは仙台市が大きく掲げているものを委員全員が理解し、それに基づいて検討を進めていく必要がある。どのような流れで取組みが進んでいるかを委員全員に知っていただかないと、空間構成や整備手法についての議論に行き着かないのではないかと。

- ・一つの土地としてまっさらな状態にするのか、それとも現状を極端に変えずに道路部分だけに手を加えるのか等、青葉通を今後どのようにしていくかの方向性が見えていないため、こうした部分をよく整理してから議論しなければならないのではないかと。

【交通処理について】

- ・青葉通駅前区間の広場化を含む活性化については、反対の立場である。青葉通の一番の強みは「交通結節点である」ことと「幅 50m の道路空間がある」ことだと思っており、歩道拡幅・トランジットモール化・フルモール化をすると、その強みが損なわれることになる。現況でよいのではないかと。仮に広場化した場合には、他の道路への影響、渋滞への影響が必ず生じると思っている。
- ・今後想定している交通シミュレーションについて、交通処理の観点のみで、想定されるケースに沿った検証とするのか、利活用 WG での検討内容を踏まえた空間構成を考慮した検証とするのか、シミュレーションの位置付けについて教えていただきたい。
- ・交通処理のシミュレーションの位置付けとして、将来を見据えた利活用のことをエッセンスとして考慮し、それに伴って出てくる様々なバリエーションに対してシミュレーションをするということができればよいのではないかとと思う。
- ・整備手法別の効果の中で、公共交通への効果とはどのようなものなのか。現状は影響の大小が整理されるだけで、利用者に不便を強いる結果しか出ていないのではないかと。
- ・今年度からせんだい都市交通プランがスタートし、公共交通の利用促進をしようという流れに矛盾する整理になっているようにも見える。例えばペDESTリアンデッキの延伸など、どうすれば公共交通の利便性を高められるのかといった議論をさせていただきたい。
- ・どこまでであれば影響が少ないのか、よくて現状維持ということでは交通事業者は割り切れないのではないかとと思う。
- ・社会実験を実施した場合、バスについては所定の路線を迂回することで、利用客自身の移動時間が増え、バス停が変わることで利用客の案内に混乱が生じることが想定される。
- ・仙台駅から放射状にバス路線が出ている事業者が多いことから、影響は仙台駅前に限らず市内全域に及ぶことが考えられる。周知や案内、所要時間の増加に伴う支障に対しての対応をしっかりと考えていかないと、社会実験の実施は難しいのではないかと懸念している。
- ・西口バスターミナルの交通処理について、約 2 年前には各社で交通処理がうまくいかなかった時間帯があったことで 1 時間程度バスが動かないという状況も多々見受けられたという前例があるため、社会実験での終点等については慎重に検討いただきたい。